

人や自然に優しい 住み良いまちをめざして 第二回 浦添市まちづくりプラン・賞決定!

浦添市では、市民主体の協働（パートナーシップ）のまちづくりをめざして、「第一回浦添市まちづくりプラン賞」を設定しました。これは市民のまちづくりに関する意識を高め、魅力あるまちづくりを形成することを目的としています。

具体的には、市民が活動・計画案をつくり、実現するための費用を、市が助成するというものです。

今年八月に募集したところ、自治会など十二グループの応募があり、公開審査の結果、四グループを「まちづくりプラン賞」として、一グループを「まちづくりプラン賞・後援団体賞」として決定しました。

公開審査と五グループの活動・計画案を紹介します。



公開審査

十月九日（土）市役所九階講堂で公開審査が行われました。十二のグループの代表がそれぞれの活動・計画案を発表しました。

発表は「渡り鳥が羽根を休めた松の木を復元させたい」といった計画や、すでに市で計画のものなどもありました。

ユニークな発想に会場が爆笑の渦に巻き込まれるなど、まちづくりへの夢と熱意にあふれた発表でした。

各グループの豊富なアイデアに、審査委員の十人をはじめ、参加者たちも熱心に聞き入っていました。



発表終了後、審査委員との活発な質疑応答があり、審査委員からは、失われていく浦添の良き部分の回復について意欲的であるとか、三グループがまとまって取り組むとより効果がでるのではないかなどの意見が出ました。

また、参加者からはプラン賞も良いが、公開審査という手法は、いろいろな人の意見を聴くことができ、とても勉強になりましたとの感想が寄せられました。

公開審査の締めくくりとして、池田孝之委員長（琉大教授）は、「今回の応募者には自分の庭だけをきれいにするのではなく、地域の人たちに貢献しようという姿勢を感じます。今後も活動の中心となつて活躍していただきたい。」と述べました。

プラン賞表彰式 助成金授与式

十一月二日（火）市長応接室で、公開審査を経て選ばれた五グループに対する表彰と助成金の交付がありました。助成金の交付を受けた浦城自治会からは、「緑化活動行つのに予算的にきびしい中、プラン賞のことで知り、みん



なで話し合い応募しました。選ばれて、大変うれいす。」と語っていました。

表彰式で池田審査委員長は「作品は甲乙つけがたいものばかりでした。選ばれたグループは、活動状況を、ぜひ、市民に見せてほしい」と話しました。宮城市長は「計画の実現が市民主体のまちづくりの一步を踏み出すことになり、とても有意義なことです。頑張ってください」と受賞者を激励しました。

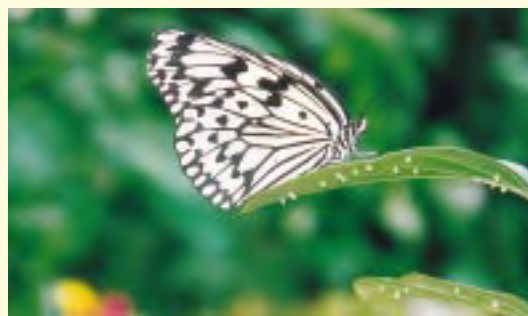
自分の考えたまちづくりが実現できることはすてきなことです。来年はあなたも応募してみませんか。

都市計画課
八七六 一三三四
（内線 四〇一五）

オオゴマダラを楽しむ会

代表者 親富祖 善 繁
助成金額 二十二万円
内 容

浦添大公園や許可を得られる場所でオオゴマダラを増やす活動です。オオゴマダラは日本最大（体長平均約十六cm）の蝶といわれています。この他にも飼育しやすい蝶や昆虫の増殖にも取り組みます。



オオゴマダラ

牧港川をきれいにする市民の会

代表者 岡 美 治
助成金額 二十二万円
内 容

牧港川の浄化運動。牧港川は水質汚染が激しく、悪臭もそうとう強いです。昔は川に入って魚取りや、虫などを採ったり、川は子どもたちにとって絶好の遊び場でした。現在、浦添市に

そんな川はありません。浦添の子どもたちのためにも、また、市民の安らぎと憩いの場として牧港川を美しい、きれいな川として甦らせようと思います。その方法として有用微生物を利用して上流から浄化をはかり、流域住民にも牧港川をきれいにするこへの協力を呼びかけます。



牧港川上流千支橋付近

西原子ども会+あるふあ

代表者 仲 程 啓 子
助成金額 三十三万円
内 容

みんなで、手づくりの遊び場をつくらうというのが目的です。これまでの子ども会活動で、にはら再発見ワークショップの集落探検行事などを通して、集落内に意外と遊び場がないことに気づきました。これから新しく遊び場をつくることはとても大変なことなので、現在遊休化している字有地の広場をみんなで安心して遊べる場所にしていこうという内容です。子どもたちだけでなく、お父さんもお母さんもおじいちゃんもおばあちゃんもみんなが憩える場所を作ります。



遊休化している公園

浦城自治会

代表者 玉 城 英 子
助成金額 二十三万円
内 容

浦城自治会地区は都市化が進み、コンクリートジャングル化しつつあります。自然との関わりが薄れ、地域の景観も寂しい雰囲気となっています。しかし、自治会には花に興味をもっている人が多く、花づくり活動を展開しようということになりました。

自治会内には自由に使える字有地がないため、調査の結果、自治会内にある道路残地（市有地）の有効利用を考えました。そこに花や緑を植え、街のなかのガーデンングを行います。



道路残地の部分に花や緑を植えます

トラフ

代表者 具 志 裕
助成金額 十五万円
内 容

トラフは建築家のグループです。浦添市は公園整備や道路整備が進み、街の活性化が計られています。事業主体である市の計画に、使い手である市民の声が反映されれば、浦添のまちづくりは尚一層活気づくのではないのでしょうか。それを結びつける方法として、まちづくりフェスタの開催を計画します。展示会やフリーディスカッションを通じ、まちづくりへの関心が深まり、市民・行政が一体となったまちづくり体制が生まれることを目指します。



まちづくりの展示会で意識を高めます